

報告事項

令和8年2月県議会定例会において、令和8年度当初予算議案を提案する。

1 議案の概要

- (1) 予算議案 1件
令和8年度当初予算
- (2) 予算外議案 なし

2 予算議案の内訳

- (1) 令和8年度当初予算額

区 分	総 額	人 件 費	
		人 件 費	物 件 費
令和8年度	280億3,539万円	222億8,824万円	57億4,715万円
令和7年度	273億3,281万円	213億6,081万円	59億7,200万円
増 減	+7億258万円	+9億2,743万円	-2億2,485万円

- (2) 主要事業 ※下線は新規事業

- 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり推進事業
 - ・ 外国人に対する防犯・交通教育事業 (2,951万円)
 - ・ 「STOP! 特殊詐欺」被害防止対策プラン (1,690万円)
 - ・ SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止対策事業 (177万円)
 - ・ サイバー空間をはじめとするデジタル社会の安全・安心の確保 (1,500万円)
- 警察施設の整備
 - ・ 琴平警察署整備事業 (4,078万円)
 - ・ 地域安全かがわ創造プログラム推進事業 (527万円)
 - ・ 交番・駐在所の整備等事業 (5,068万円)
- 交通安全施設整備事業
 - ・ 高松中心市街地歩行者安全対策向上等事業 (1億円)
 - ・ 災害時道路交通環境確保に向けた信号柱耐震対策等事業 (9,600万円)
- 情報化の推進事業
 - ・ 刑事手続き IT化事業 (2億744万円)

3 今後の予定

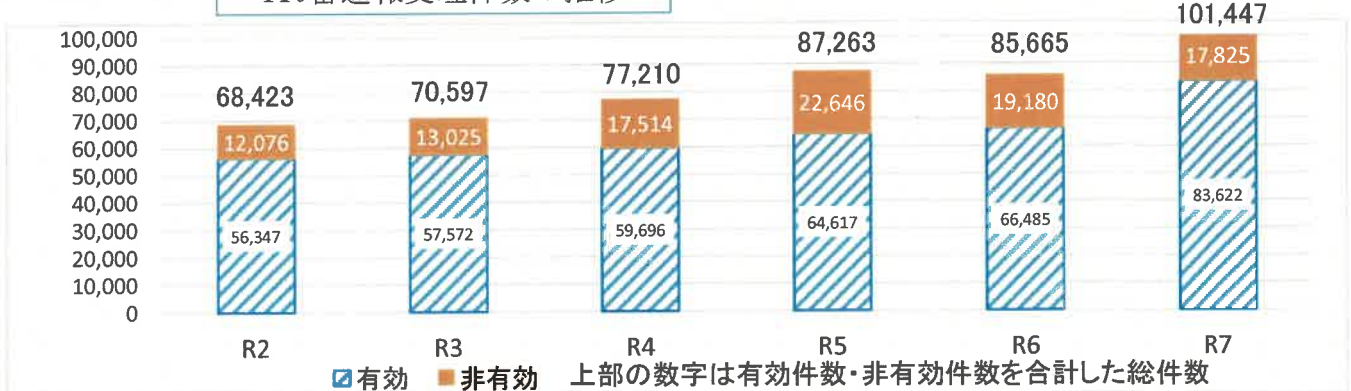
2月県議会定例会に上程後、総務委員会において審議

報告事項

令和7年中の110番受理件数は、総件数101,447件、うち有効件数は83,622件で、前年より、総件数が15,782件(18.4%)増加、有効件数が17,137件(25.8%)の増加となった。

1 受理件数

110番通報受理件数の推移



◎ 有効件数は、総件数から非有効件数(いたずら、無応答、誤接続、試験通報)を除いた数値

2 有効件数の内訳

(1) 事案等別受理状況

区分	R6	R7	増減		
			件数	率(%)	
有効件数	66,485	83,622	+17,137	+25.8	
緊急	交通関係	30,300	33,926	+3,626	+12.0
	各種情報	10,248	13,887	+3,639	+35.5
	続報	6,792	8,617	+1,825	+26.9
	けんか	3,343	3,866	+523	+15.6
	保護・救護	1,654	1,994	+340	+20.6
	刑法犯関係	1,578	2,300	+722	+45.8
	変死	516	492	-24	-4.7
	災害関係	429	474	+45	+10.5
	法令違反	62	83	+21	+33.9
	小計	54,922	65,639	+10,717	+19.5
	不急	苦情・相談等	7,786	12,781	+4,995
各種照会		3,183	4,870	+1,687	+53.0
虚報・誤報		594	332	-262	-44.1
小計		11,563	17,983	+6,420	+55.5

◎ 緊急を要する通報は、有効件数の78.5%

◎ 最も多い事案は、交通関係で有効件数の40.6%

(2) 警察署等別受理状況

区分	R6	R7	増減	
			件数	率(%)
東かがわ	1,151	1,520	+369	+32.1
さぬき	1,949	2,502	+553	+28.4
高松東	3,895	5,002	+1,107	+28.4
小豆	704	1,076	+372	+52.8
高松北	19,027	23,151	+4,124	+21.7
高松南	14,188	16,400	+2,212	+15.6
坂出	4,791	6,407	+1,616	+33.7
高松西	2,748	3,431	+683	+24.9
丸亀	10,338	13,016	+2,678	+25.9
琴平	1,131	1,633	+502	+44.4
三豊	2,629	4,198	+1,569	+59.7
観音寺	2,558	3,637	+1,079	+42.2
高速隊	1,246	1,300	+54	+4.3

◎ 高松北及び高松南の2署で有効件数の47.3%
(高松北27.7%、高松南19.6%)

◎ 最多時間帯：16:00～18:00 10,997件(13.2%)

◎ 最少時間帯：4:00～6:00 2,007件(2.4%)

3 その他

(1) アプリ・FAX110番受理状況

区分	アプリ	FAX110番
R7	7	0
R6	28	1

(2) 110番映像通報受理状況

区分	映像	静止画	総計
R7	4	90	94
R6	10	82	92

◎ 事案は保(救)護関係76件
その他不審者情報等

(3) 外国人からの110番受理

区分	総計
R7	263
R6	218

4 課題と対策

- 緊急の事件・事故の通報を阻害する非有効、不急の通報への対策
(対策) 適切な110番の利用に関する啓発活動の推進及び各警察相談窓口の教示
- 臨場警察官の命を守る指令の徹底
(対策) 危機意識の醸成と現場状況に応じた装備資機材の有効活用指示の徹底
- 最悪を想定した指揮指令
(対策) 通報内容に応じた適切な擬律判断と指揮指令能力の向上に資する教養・訓練の推進

報告事項

令和7年中の刑法犯認知件数は6,334件(前年比+476件、+8.1%)、検挙件数は2,877件(同+132件、+4.8%)、検挙率は45.4%(同-1.5ポイント)で、前年より、認知件数及び検挙件数は増加、検挙率は低下した。

1 令和7年中の刑法犯の認知・検挙状況等

(1) 刑法犯の認知・検挙状況

包括罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち少年		
	数	前年比		数	前年比		%	前年比	増減	前年比		増減	前年比	
		増減	%		増減	%				増減	%			
総数	6,334	+476	+8.1	2,877	+132	+4.8	45.4	-1.5	1,722	+42	+2.5	214	+31	+16.9
凶悪犯	53	-6	-10.2	52	-5	-8.8	98.1	+1.5	67	+14	+26.4	9	+2	+28.6
粗暴犯	409	+8	+2.0	341	-29	-7.8	83.4	-8.9	343	-37	-9.7	47	-8	-14.5
窃盗犯	3,435	+232	+7.2	1,686	+118	+7.5	49.1	+0.1	821	-1	-0.1	93	+14	+17.7
侵入盗	292	-16	-5.2	245	+97	+65.5	83.9	+35.8	57	+10	+21.3	2	±0	
乗り物盗	1,057	+107	+11.3	139	-20	-12.6	13.2	-3.5	51	-7	-12.1	28	+3	+12.0
非侵入盗	2,086	+141	+7.2	1,302	+41	+3.3	62.4	-2.4	713	-4	-0.6	63	+11	+21.2
知能犯	1,254	+242	+23.9	213	-25	-10.5	17.0	-6.5	103	+10	+10.8	12	+4	+50.0
風俗犯	160	-22	-12.1	153	-13	-7.8	95.6	+4.4	110	+13	+13.4	15	+8	+114.3
その他	1,023	+22	+2.2	432	+86	+24.9	42.2	+7.6	278	+43	+18.3	38	+11	+40.7

(2) 重要犯罪の認知・検挙状況

罪種	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち少年		
	数	前年比		数	前年比		%	前年比	増減	前年比		増減	前年比	
		増減	%		増減	%				増減	%			
総数	102	-1	-1.0	99	-1	-1.0	97.1	±0	102	+14	+15.9	16	+6	+60.0
殺人	1	-14	-93.3	1	-14	-93.3	100.0	±0	2	-12	-85.7	0	-2	-100.0
強盗	8	+2	+33.3	8	+1	+14.3	100.0	-16.7	17	+11	+183.3	2	±0	
放火	2	-7	-77.8	3	-4	-57.1	150.0	+72.2	4	-2	-33.3	0	-1	-100.0
不同意性交等	42	+13	+44.8	40	+12	+42.9	95.2	-1.4	44	+17	+63.0	7	+5	+250.0
略取誘拐・人身売買	2	-3	-60.0	3	-1	-25.0	150.0	+70.0	3	+1	+50.0	0	±0	
不同意わいせつ	47	+8	+20.5	44	+5	+12.8	93.6	-6.4	32	-1	-3.0	7	+4	+133.3

(3) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

手口等	認知件数			検挙件数			検挙率		検挙人員			うち少年		
	数	前年比		数	前年比		%	前年比	増減	前年比		増減	前年比	
		増減	%		増減	%				増減	%			
総数	314	-6	-1.9	258	+100	+63.3	82.2	+32.8	66	+11	+20.0	6	+2	+50.0
侵入盗	292	-16	-5.2	245	+97	+65.5	83.9	+35.8	57	+10	+21.3	2	±0	
住宅対象	82	-43	-34.4	92	+26	+39.4	112.2	+59.4	23	+5	+27.8	1	±0	
住宅対象以外	210	+27	+14.8	153	+71	+86.6	72.9	+28.1	34	+5	+17.2	1	±0	
自動車盗	21	+14	+200.0	12	+7	+140.0	57.1	-14.3	7	+4	+133.3	2	+2	
ひったくり	0	-3	-100.0	0	-3	-100.0	0	-100.0	0	-2	-100.0	0	-2	-100.0
すり	1	-1	-50.0	1	-1	-50.0	100.0	±0	2	-1	-33.3	2	+2	

2 令和8年の「検挙と抑止」に向けた取組

(1) 検挙対策

- ア 重要犯罪等の迅速・的確な初動捜査による早期検挙
- イ 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺対策の徹底
- ウ 匿名・流動型犯罪グループ等組織犯罪対策の徹底
- エ 現場鑑識活動及び科学技術を活用した科学捜査の徹底による客観的証拠の収集

(2) 抑止対策

- ア 情勢を踏まえた犯罪抑止対策の推進
- イ 訴求力のある犯罪情報や防犯情報の提供
- ウ 関係機関・団体と連携した犯罪防止に向けた取組

別表

包括罪種	罪種	罪名
凶悪犯	殺人	殺人罪、嬰兒殺、殺人予備罪、自殺関与罪
	強盗	強盗殺人罪(致死を含む。)、強盗傷人罪、強盗・不同意性交等罪(致死を含む。)、強盗罪・準強盗罪(強盗予備、事後強盗、昏睡強盗)
	放火	放火罪、消火妨害罪
	不同意性交等	不同意性交等罪(致死傷を含む。)、監護者性交等罪
粗暴犯	凶器準備集	凶器準備集合罪、凶器準備結集罪
	暴行	暴行罪
	傷害	傷害罪、傷害致死罪、現場助勢罪
	脅迫	脅迫罪、強要罪
	恐喝	恐喝罪
窃盗犯	窃盗	窃盗罪 (重要窃盗犯が含まれる。)
知能犯	詐欺	詐欺罪、準詐欺罪
	横領	横領罪、業務上横領罪
	偽造	通貨偽造罪、文書偽造罪、支払用カード偽造罪、有価証券偽造罪、印章偽造罪
	汚職	賄賂罪(収賄罪、贈賄罪)、職権乱用罪(致死傷を含む。)
	あっせん利得	公職にある者等のあっせん行為による利得等の処罰に関する法律に規定する罪
	背任	背任罪
風俗犯	賭博	普通賭博罪、常習賭博罪、賭博開張等罪
	わいせつ	不同意わいせつ罪(致死傷を含む。)、監護者わいせつ罪、公然わいせつ罪、わいせつ物頒布等罪
	面会要求等	面会要求等罪、映像送信要求罪
	性的姿態撮影等処罰	性的姿態等撮影罪、性的影像記録提供等罪、性的影像記録保管罪、性的姿態等影像送信罪、性的姿態等影像記録罪、消去命令違反等罪
その他	上記以外	器物損壊等罪、占有離脱物横領罪、住居侵入罪、略取誘拐・人身売買罪等

※重要犯罪・重要窃盗犯

治安情勢を観察する場合に、統計上、その指標となる犯罪として掲げるもので、その内訳罪名(手口)は、次のとおりである。

- ・重要犯罪(6種) ••殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐・人身売買、不同意わいせつ
- ・重要窃盗犯(4種) ••侵入盗、自動車盗、ひったくり、すり

報告事項

- 令和7年中の特殊詐欺については、認知件数379件（前年比+148件、約1.6倍）、被害総額約13億1,200万円（同+約6億4,100万円、約2倍）と、認知件数及び被害額ともに大幅に増加している。
- 令和7年中のSNS型投資・ロマンス詐欺（特殊詐欺に該当するものを除く。）については、認知件数343件（前年比+83件、約1.3倍）、被害総額約25億7,700万円（同+約2億400万円、約1.1倍）と、認知件数及び被害総額ともに増加している。

1 特殊詐欺の被害・検挙状況

(1) 被害状況

特殊詐欺類型	令和7年12月末			令和6年12月末			増			減		
	認知		被害額	認知		被害額	認知		被害額			
	既遂	未遂		計	既遂		未遂	計				
オレオレ詐欺	145	4	149	983,566,000	32	2	34	428,506,902	+113	+2	+115	+555,059,098
預貯金詐欺	9	0	9	12,172,000	5	0	5	4,135,000	+4	0	+4	+8,037,000
架空料金請求詐欺	155	1	156	171,390,357	138	0	138	126,350,905	+17	+1	+18	+45,039,452
還付金詐欺	7	0	7	6,257,386	3	0	3	9,186,809	+4	0	+4	-2,929,423
融資保証金詐欺	16	0	16	11,266,476	10	0	10	5,221,054	+6	0	+6	+6,045,422
金融商品詐欺	8	0	8	72,272,411	4	0	4	12,170,628	+4	0	+4	+60,101,783
ギャンブル詐欺	2	0	2	4,109,000	3	0	3	2,052,640	-1	0	-1	+2,056,360
交際あっせん詐欺	20	0	20	27,652,498	4	0	4	2,824,947	+16	0	+16	+24,827,551
その他の特殊詐欺	6	0	6	8,627,716	27	0	27	75,134,334	-21	0	-21	-66,506,618
キャッシュカード詐欺盗	6	0	6	14,893,000	3	0	3	5,505,000	+3	0	+3	+9,388,000
合計	374	5	379	1,312,206,844	229	2	231	671,088,219	+145	+3	+148	+641,118,625

※ 被害の特徴

- 手 口 ~ 架空料金請求詐欺が全体の41.2%（156件）、オレオレ詐欺が全体の39.3%（149件）を占めており、特にオレオレ詐欺が増加（前年比+115件）している。
オレオレ詐欺では、警察官等をかたり、捜査名目で現金等をだまし取る手口による被害が顕著である。
- 被害額 ~ オレオレ詐欺の被害額が全体の75%（約9億8,400万円）を占める。
- 年 齢 ~ 高齢者（65歳以上）が全体の34.6%（131人）を占めるが、年代別では、60代の18.7%（71人）に次いで20代の18.5%（70人）となっており、幅広い年代に被害が及んでいる。
- 性 別 ~ 男性が54.6%（207人）、女性が45.4%（172人）である。
- 交付形態 ~ 既遂374件中、振込型が全体の66.6%（249件）、電子マネー型が全体の13.4%（50件）を占める。

(2) 検挙状況

- 詐欺等 ~ 57件21人（前年比+6件、+1人） ※組織的犯罪処罰法を含む。
- 助長犯罪 ~ 91件38人（前年比+55件、+3人）

2 SNS型投資・ロマンス詐欺の被害・検挙状況

(1) 被害状況

令和7年							令和6年						
	SNS型投資詐欺		SNS型ロマンス詐欺					SNS型投資詐欺		SNS型ロマンス詐欺			
	認知 件数	被害額(円)	投資名目		ロマンス等名目			認知 件数	被害額(円)	投資名目		ロマンス等名目	
			認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)				認知 件数	被害額(円)	認知 件数	被害額(円)
1月	6	26,673,096	10	52,127,392	2	4,093,000	1月	17	126,911,409	4	34,195,657	0	0
2月	3	6,300,000	8	20,476,000	2	10,777,034	2月	30	200,460,694	4	84,609,040	0	0
3月	3	1,620,653	7	132,250,199	3	1,031,000	3月	23	274,729,060	5	11,008,765	3	32,372,513
4月	14	187,404,871	2	10,040,000	6	8,217,478	4月	9	67,897,782	4	18,244,339	1	1,737,171
5月	10	34,517,000	10	106,517,690	9	23,979,443	5月	8	102,462,592	2	10,937,827	2	22,711,476
6月	10	40,472,952	9	85,785,784	1	1,307,000	6月	12	121,024,042	2	28,095,151	6	23,829,500
7月	27	133,932,257	20	114,049,022	5	6,877,824	7月	9	157,748,975	3	55,080,000	1	5,540,000
8月	19	189,546,126	3	11,120,000	2	8,150,000	8月	12	45,247,628	5	50,527,000	1	1,450,000
9月	26	236,854,331	12	142,698,660	4	17,109,700	9月	19	137,410,626	6	58,780,000	5	27,406,498
10月	29	135,649,343	5	112,600,000	2	2,950,500	10月	18	132,607,829	9	95,896,294	11	53,479,448
11月	25	228,657,733	13	79,760,242	3	10,561,000	11月	8	105,679,533	6	58,728,121	1	40,000
12月	19	187,040,245	12	199,790,920	2	6,463,000	12月	5	160,124,747	8	66,570,683	1	150,000
合計	191	1,408,668,607	111	1,067,215,909	41	101,516,979	合計	170	1,632,304,917	58	572,672,877	32	168,716,606

※ 認知件数：343件 被害額：約25億7,700万円

うち、投資名目の詐欺(SNS型投資詐欺及び投資名目のSNS型ロマンス詐欺の合計)

認知件数：302件 被害額：約24億7,600万円

※ 被害の特徴

- 年齢 ～ 50代が29.4% (101人) と最も多い。
- 性別 ～ 男性が60.9% (209人)、女性が39.1% (134人) である。
- 交付形態 ～ 振込型が全体の70% (240件)、暗号資産送付型が全体の21.3% (73件) を占める。

(2) 検挙状況

- 詐欺等 ～ 16件5人 (前年比+3件、±0人) ※組織的犯罪処罰法を含む。

3 検挙・抑止に向けた取組

(1) 検挙対策

- 迅速な初動捜査による実行犯の検挙、突き上げ捜査による上位被疑者の摘発及び組織的犯罪処罰法の積極的な適用による犯罪収益等の剥奪
- SNS利用の被疑者を特定するための捜査の推進
- 金融機関との連携による被害者の早期把握及び的確な捜査の推進
- サイバー部門と連携した暗号資産追跡等の捜査の推進
- 特殊詐欺連合捜査班等の運用及び他都道府県警察との合・共同捜査の推進

(2) 抑止対策等

- 被害阻止状況 ・ 阻止件数：133件 (前年同期比+16件)
・ 阻止金額：約2億5,600万円 (前年比+約2億1,800万円)
- 情勢に応じたタイムリーかつ効果的な広報啓発活動の推進
 - ・ ヨイチポリス、ヨイチメール等を活用したタイムリーな情報発信
 - ・ 特殊詐欺被害等仮想体験ツールの活用
- 関係機関・団体と連携した被害防止対策の推進
 - ・ 金融機関、民生委員等と連携した水際対策
- 被害防止のための身近な対策の推進
 - ・ 防犯アドバイザーによる被害防止対策
 - ・ 国際電話不取扱受付センターの周知徹底